

1 子ども事業

No.	計画事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
9	オープンスペース～七夕飾りを作ろう～	オープンスペース～七夕飾りを作ろう～	対面	公民館に寄贈いただいた笹に七夕飾りや短冊を作って飾りつけを行う。開催会場は出入り自由とし、レッツトライボランティアの子どもたちに講師になってもらい、当日教える形とする。	社会教育嘱託員 レッツトライボラン ティア参加の子どもた ち	R8. 6. 28(日)	3歳～小学校6年生	20人	14人 (ほかに保護者6人)	【成果】レッツトライボランティアに参加の子どもたちが学んで覚えた七夕飾りを、この日参加した子どもたちにしっかり教えてくれた。 【課題】講座の2時間の設定が長すぎて、子どもたちの集中が途切れていた。

4 地域課題解決等事業

No.	計画事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	夏に涼しい手づくり布ぞうり	夏に涼しい手づくり布ぞうり	対面	古い浴衣を使って布ぞうりを作る。自分たちの学びを地域に還元できる事業方向とする。	ラ・トワール（香川公民館布ぞうり講師団体）	R8. 6. 14(日)	小学校5年生以上	15人	15人	【成果】リサイクル意識向上と伝統文化への理解を深めることができた。また、学びを通じての仲間作りの成果もあった。 【課題】参加者の作業進捗状況にばらつきがあり待ち時間の有効活用が課題である。
2	布ぞうり番外編 幻の履き物 足半(あしなか)を編む	布ぞうり番外編 「幻の履き物 足半(あしなか)を古布で編む」	対面	1000年以上前の人々に愛用された履き物を足半を古布で作り、リサイクルと足の健康を図る。	ラ・トワール（香川公民館布ぞうり講師団体）	R8. 6. 21(日)	小学校5年生以上	10人	7人	【成果】古い日本の履物について学べたと同時に足の健康について考える機会となった。 【課題】今後、布ぞうり番外編として市民の興味のある布ぞうりを企画する（EX. 古Tシャツで作る布ぞうり等）。
3	かがわ健康ウォーク（春）	かがわ健康ウォーク 「小津安二郎の散歩道」	対面	（春）ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会	①講演 R8. 6. 10(水) ②ウォーク R8. 6. 11(木)	18歳以上	18人	①17人 ②18人	【成果】座学と外歩きの2本立て講座でテーマに添って茅ヶ崎ゆかりの人物を立体的に学ぶことができ、ふるさと意識向上につながった。 【課題】多人数での街歩きでは、交通の妨げにならない歩き方を心がける必要がある。
5	かがわ健康ウォーク（番外編）	かがわ健康ウォーク（番外編） 「水彩スケッチ散歩」	対面	（番外編 水彩スケッチ） ウォーキング番外編として、スケッチしながらウォークを楽しむ。同じ目的を持った仲間づくりの場とする。	小林信幸氏	①座学 R8. 4. 22(水) ②スケッチ R8. 4. 23(木)	18歳以上	15人	①15人 ②15人	【成果】学ぶ楽しさを実感でき、楽しみながら自主的に歩くきっかけづくりのなった。また、作品展示を行うことにより学習意欲向上と公民館へ理解、興味につながれた。 【課題】市マイクロバスを利用の場合、延期日の設定ができないため、雨天でも決行とした。外事業は天候に左右されやすいので、どんな天気でも対応可能な企画運営が必要となる。
11	庭木の剪定教室	庭木の剪定教室	対面	庭木剪定の基礎的な技術を公民館の敷地内の庭木を題材に実地指導と並行して学ぶ。	宍倉寛人氏	R8. 6. 10(水)	一般	14人	14人	【成果】剪定前の蜂チェック・脚立の使い方、道具のお手入れ方法、ハサミの使い方等、剪定の技術を学んだ。 【課題】参加者の剪定状況により時間が足りなくなり、ツゲの剪定を教えることができなかった。スケジュール・剪定対策を講師と再検討する。
14	一眼レフ初心者カメラレッスン	一眼レフ初心者カメラレッスン～茅ヶ崎の花を撮ろう～第1回ハマヒルガオ	対面	一眼レフやミラーレスカメラの軽量化が進み、誰でも気楽にカメラを手にすることが増えた。しかし、実際はカメラの複雑な機能や扱い方がわからず、学ぶ機会も少ないため、その使い方を学ぶ。	社会教育嘱託員	①R8. 5. 15 ②R8. 5. 29 ③R8. 6. 5	一般	5人	①5人 ②5人 ③5人	【成果】カメラのマニュアルモードを理解し茅ヶ崎の初夏に咲くハマヒルガオを撮影することができた。 【課題】オートモードから脱却し、全員がマニュアルモードを理解したが、一人で撮影に行き、実践するには経験が必要だ。
20	糀職人に学ぶ「発酵の世界」 豆板醤を作ろう	発酵シリーズ～糀職人に学ぶ 「発酵の世界」～旬のそら豆を使って豆板醤作り	対面	無理なく糀を生活に取り入れて、食を通した体づくりを促す。今回はそら豆と糀を使って、簡単にできる発酵調味料の作り方を学び、毎食事に取り入れることで腸内の環境を整える。	熊澤弘之氏（糀店「米の花」店主）	R8. 5. 9(日)	一般	16人	16人	【成果】豆板醤が自宅で簡単に手作りできる発酵調味料であることを理解し健康に与える影響などについても理解を深めた。 【課題】講師がそら豆をゆでてきてくれたこともあり、調理時間が少なく済んだ。次回は講座時間を少し短めに設定する。

7 次世代育成ネットワーク事業

No.	計画事業名	実施事業名	方法	事業の概要	講師	開催日	対象	定員	参加実績	成果・課題
1	小学生公民館見学	公民館見学 （香川小学校3年生）	対面	近隣小学校の総合的学習の時間に協力し、子どもたちに公民館を知ってもらい利用促進につなげる。		R8. 6. 26(金)			教員6人 児童144人	単に部屋を見て回るだけでは公民館がどういう施設かわからないため、最初に説明の時間を設けた。児童が飽きてしまうことのないよう会話のキャッチボールの時間を多くし、クイズを織り交ぜるなどの工夫をした結果、前向きな様子が見られた。